

# 平成25年4～6月期結果(確報)の概要

## I 今期の概況

### 1 今期の個人企業（個人経営の事業所）の業況判断D I

① 今期の業況判断

今期（平成25年4～6月期）の業況判断D Iは (-)61.8 で、前期（平成25年1～3月期）(-67.3)に比べ、5.5ポイントの改善。

② 来期の見通し

来期（平成25年7～9月期）の業況見通しD Iは (-)57.6 で、今期の業況判断 (-61.8)に比べ、4.2ポイントの改善の見通し。

図1 業況判断D Iの推移 — 調査産業計 —

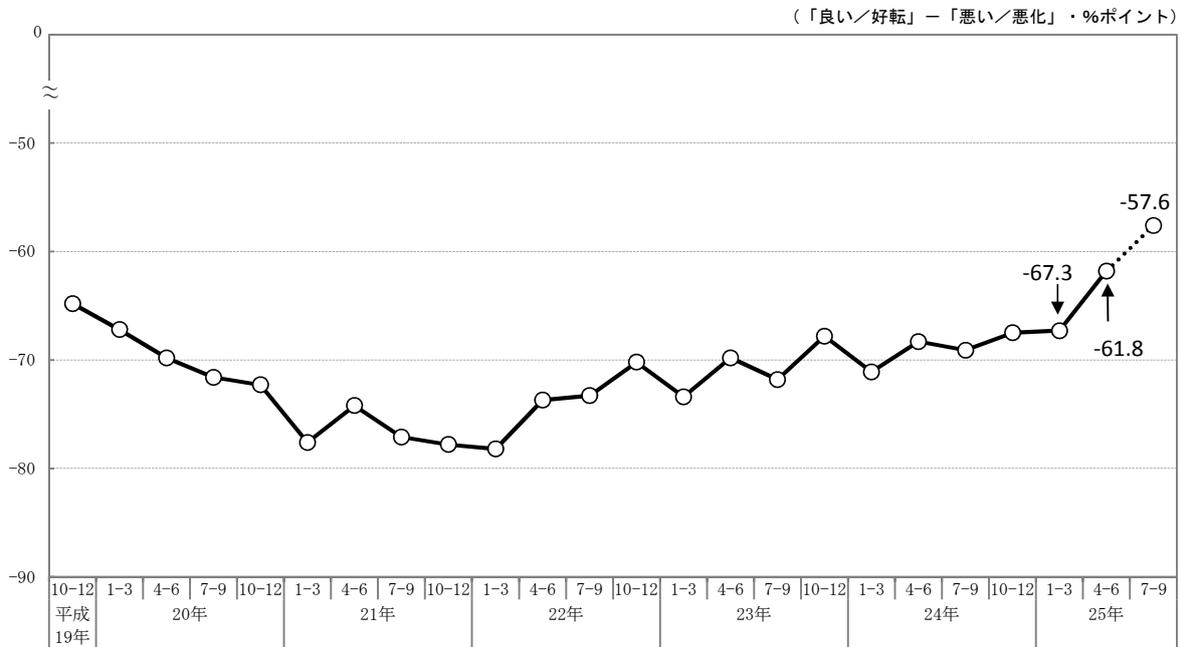


表1 業況判断の割合 — 調査産業計 —

	平成24年			25年		
	4～6月期	7～9月期	10～12月期	1～3月期	4～6月期	7～9月期 見通し
今期の業況, 来期の業況 (%)						
良い/好転	2.5	2.0	3.5	2.8	3.5	3.0
普通/不変	26.6	27.0	25.6	27.2	31.2	36.3
悪い/悪化	70.8	71.1	71.0	70.1	65.3	60.6
D I	-68.3	-69.1	-67.5	-67.3	-61.8	-57.6
参考						
日銀短観(大企業全産業計)	3	2	-3	-1	8	11
中小企業景況調査(全産業計)	-35.2	-36.7	-38.3	-38.8	-29.5	-11.3

(注) 「中小企業景況調査」：(独) 中小企業基盤整備機構作成

(注) 今期の調査票回収時期は、平成25年7月上旬から中旬までである。

## 2 今期の売上高及び営業利益

① 今期の1事業所当たりの売上高は、	
□「製造業」は	218万3000円で、前年同期に比べ、12.5%の減少
□「卸売業、小売業」は	393万2000円で、前年同期に比べ、8.1%の減少
□「宿泊業、飲食サービス業」は	208万7000円で、前年同期とほぼ同額
□「サービス業」は	140万5000円で、前年同期に比べ、16.7%の増加
② 今期の1事業所当たりの営業利益は、	
□「製造業」は	63万円で、前年同期に比べ、4.0%の増加
□「卸売業、小売業」は	39万8000円で、前年同期に比べ、4.1%の減少
□「宿泊業、飲食サービス業」は	42万4000円で、前年同期に比べ、21.8%の増加
□「サービス業」は	52万2000円で、前年同期に比べ、16.8%の増加

※前年同期(平成24年4～6月期)

表2 産業別売上高及び営業利益

(1事業所当たり)

		製造業		卸売業、小売業		宿泊業、飲食サービス業		サービス業		
		売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	
実数 (千円)	平成23年	4～6月期	2,059	621	4,143	434	2,128	394	1,279	497
		7～9月期	2,108	615	4,341	473	2,192	446	1,248	458
		10～12月期	2,364	674	4,477	447	2,113	400	1,301	505
	平成24年	1～3月期	2,485	633	3,957	385	1,963	363	1,102	396
		4～6月期	2,495	606	4,278	415	2,086	348	1,204	447
		7～9月期	2,332	612	4,201	433	2,164	354	1,171	416
	平成25年	10～12月期	2,682	765	4,431	435	2,189	390	1,291	463
		1～3月期	2,086	563	3,948	368	2,058	383	1,232	427
		4～6月期	2,183	630	3,932	398	2,087	424	1,405	522
	前年同期比 (%)	平成23年	4～6月期	-23.0	6.2	0.6	-12.1	-3.2	0.0	-8.5
7～9月期			-16.0	-5.8	9.5	-7.6	1.9	12.6	-4.2	-3.4
10～12月期			-10.0	-4.4	-2.0	-17.8	-8.0	-6.5	-1.9	7.0
平成24年		1～3月期	21.7	9.0	-3.5	-15.0	-4.7	0.6	-9.7	-0.8
		4～6月期	21.2	-2.4	3.3	-4.4	-2.0	-11.7	-5.9	-10.1
		7～9月期	10.6	-0.5	-3.2	-8.5	-1.3	-20.6	-6.2	-9.2
平成25年		10～12月期	13.5	13.5	-1.0	-2.7	3.6	-2.5	-0.8	-8.3
		1～3月期	-16.1	-11.1	-0.2	-4.4	4.8	5.5	11.8	7.8
		4～6月期	-12.5	4.0	-8.1	-4.1	0.0	21.8	16.7	16.8

## 3 今期の設備投資額

① 今期の1事業所当たりの設備投資額は、	
□「製造業」は	5万6000円で、前年同期(9万4000円)に比べ、減少
□「卸売業、小売業」は	11万8000円で、前年同期(7万6000円)に比べ、増加
□「宿泊業、飲食サービス業」は	5万9000円で、前年同期(6万4000円)に比べ、減少
□「サービス業」は	6万3000円で、前年同期(10万1000円)に比べ、減少
② 今期の1事業所当たりの設備投資率(売上高に対する設備投資額の割合)は、	
□「製造業」は	2.6%で、前年同期(3.8%)に比べ、1.2ポイントの低下
□「卸売業、小売業」は	3.0%で、前年同期(1.8%)に比べ、1.2ポイントの上昇
□「宿泊業、飲食サービス業」は	2.8%で、前年同期(3.1%)に比べ、0.3ポイントの低下
□「サービス業」は	4.5%で、前年同期(8.4%)に比べ、3.9ポイントの低下

※前年同期(平成24年4～6月期)

表3 産業別設備投資額及び設備投資率

(1事業所当たり)

		製造業		卸売業、小売業		宿泊業、飲食サービス業		サービス業	
		設備投資額 (千円)	設備投資率 (%)	設備投資額 (千円)	設備投資率 (%)	設備投資額 (千円)	設備投資率 (%)	設備投資額 (千円)	設備投資率 (%)
平成23年	4～6月期	94	4.6	65	1.6	74	3.5	34	2.7
	7～9月期	45	2.1	82	1.9	59	2.7	70	5.6
	10～12月期	76	3.2	86	1.9	121	5.7	83	6.4
平成24年	1～3月期	79	3.2	49	1.2	53	2.7	56	5.1
	4～6月期	94	3.8	76	1.8	64	3.1	101	8.4
	7～9月期	100	4.3	71	1.7	115	5.3	91	7.8
平成25年	10～12月期	131	4.9	60	1.4	64	2.9	74	5.7
	1～3月期	65	3.1	100	2.5	64	3.1	125	10.1
	4～6月期	56	2.6	118	3.0	59	2.8	63	4.5

## Ⅱ 業況判断

### 1 調査産業計

#### (1) 業況

##### ① 今期の業況

ア 今期（平成25年4～6月期）の業況判断D Iは（-）61.8 で、前期（平成25年1～3月期）（-67.3）に比べ、5.5ポイント改善した。

イ 前期と比較した業況判断D Iは（-）41.5 で、前期（-57.0）に比べ、15.5ポイント改善した。

ウ 前年同期（平成24年4～6月期）と比較した業況判断D Iは（-）52.8 で、前期（-55.2）に比べ、2.4ポイント改善した。

##### ② 来期の業況見通し

来期（平成25年7～9月期）の業況見通しD Iは（-）57.6 で、今期の業況判断（-61.8）に比べ、4.2ポイントの改善の見通しとなっている。

図2 業況判断D Iの推移 —調査産業計—

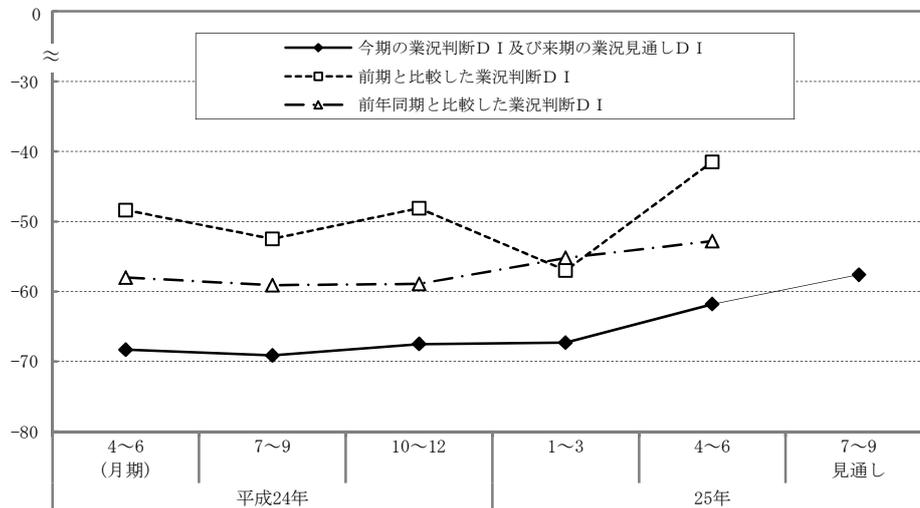
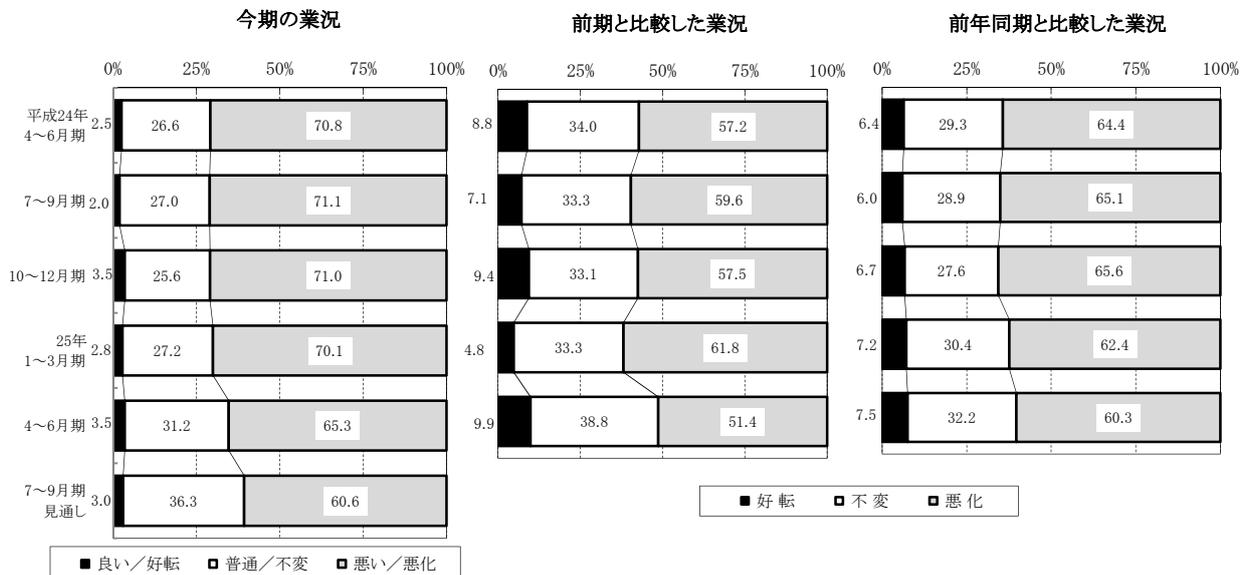


図3 業況判断の割合 —調査産業計—



## (2) 売上の状況

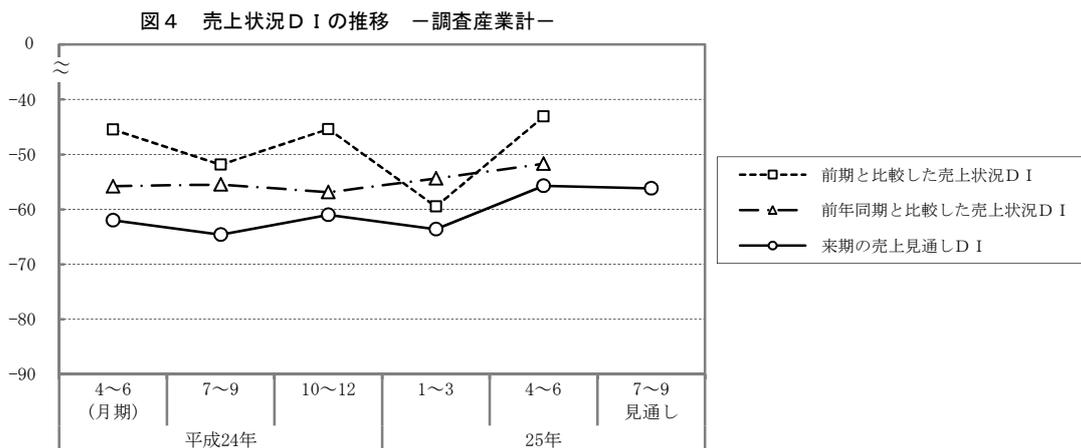
### ① 今期の売上の状況

ア 前期と比較した売上状況DIは (-)43.1 で、前期 (-59.5) に比べ、16.4 ポイント改善した。

イ 前年同期と比較した売上状況DIは (-)51.7 で、前期 (-54.4) に比べ、2.7 ポイント改善した。

### ② 来期の売上見通し

来期の売上見通しDIは (-)56.2 で、前期における今期の売上見通し (-55.7) に比べ、0.5 ポイントの悪化の見通しとなっている。



## (3) 営業利益の状況

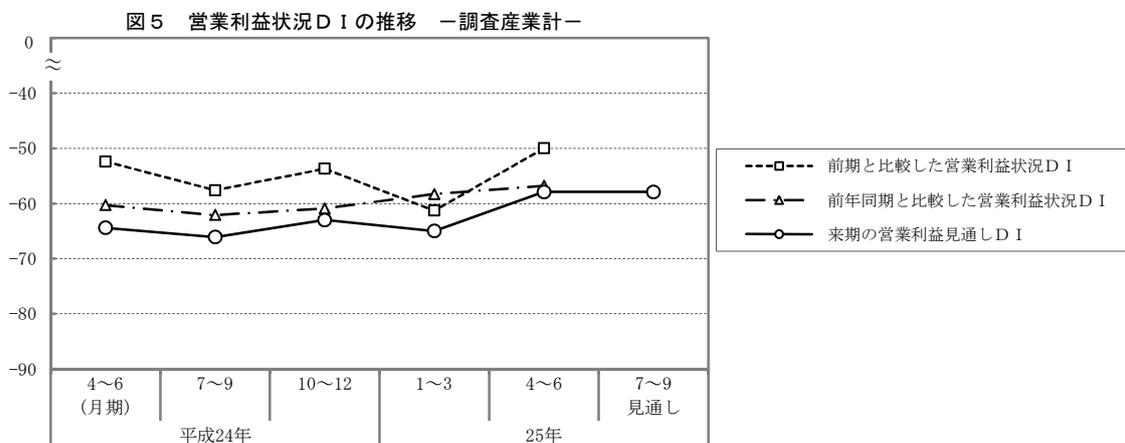
### ① 今期の営業利益の状況

ア 前期と比較した営業利益状況DIは (-)50.0 で、前期 (-61.3) に比べ、11.3 ポイント改善した。

イ 前年同期と比較した営業利益状況DIは (-)56.8 で、前期 (-58.3) に比べ、1.5 ポイント改善した。

### ② 来期の営業利益見通し

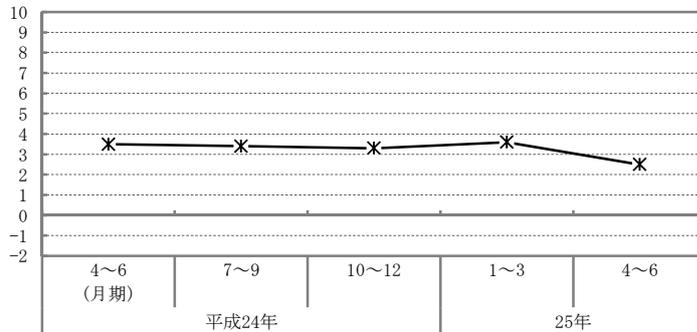
来期の営業利益見通しDIは (-)57.9 で、前期における今期の営業利益見通し (-57.9) から横ばいの見通しとなっている。



#### (4) 製品・商品・原材料の在庫状況

今期の製品・商品・原材料の在庫状況DIは (+)2.5 で、前期 (+3.6) に比べ、1.1 ポイント「過剰」が縮小した。

図6 製品・商品・原材料の在庫状況DIの推移 -調査産業計-

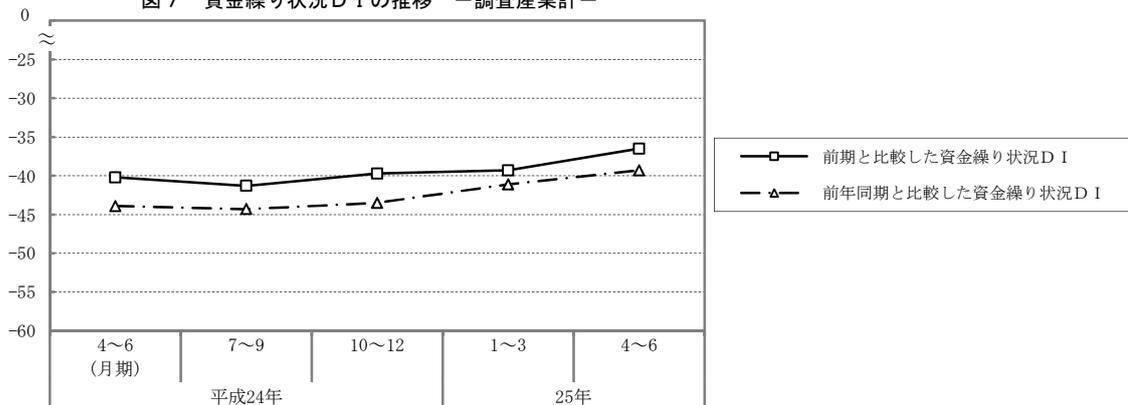


#### (5) 資金繰りの状況

ア 前期と比較した資金繰り状況DIは (-)36.5 で、前期 (-39.3) に比べ、2.8 ポイント改善した。

イ 前年同期と比較した資金繰り状況DIは (-)39.3 で、前期 (-41.1) に比べ、1.8 ポイント改善した。

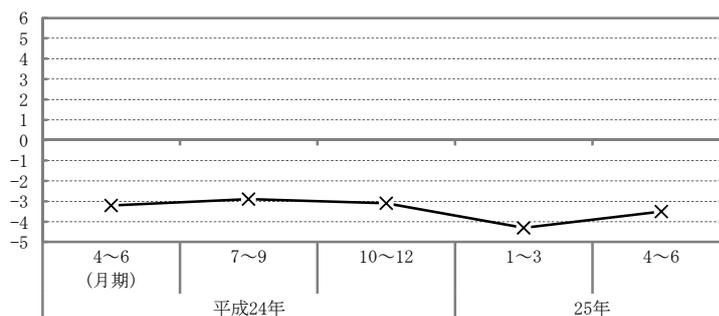
図7 資金繰り状況DIの推移 -調査産業計-



#### (6) 雇用状況

今期の雇用状況DIは (-)3.5 で、前期 (-4.3) に比べ、0.8 ポイント「不足」が縮小した。

図8 雇用状況DIの推移 -調査産業計-



## 2 製造業

### (1) 業況

#### ① 今期の業況

ア 今期（平成25年4～6月期）の業況判断DIは(-)54.4で、前期（平成25年1～3月期）(-60.4)に比べ、6.0ポイント改善した。

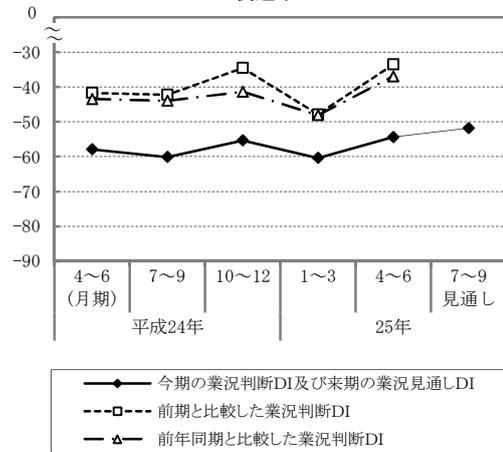
イ 前期と比較した業況判断DIは(-)33.6で、前期(-47.9)に比べ、14.3ポイント改善した。

ウ 前年同期（平成24年4～6月期）と比較した業況判断DIは(-)37.0で、前期(-48.1)に比べ、11.1ポイント改善した。

#### ② 来期の業況見通し

来期（平成25年7～9月期）の業況見通しDIは(-)51.8で、今期の業況判断(-54.4)に比べ、2.6ポイントの改善の見通しとなっている。

図9 業況判断DIの推移  
—製造業—



### (2) 売上の状況

#### ① 今期の売上の状況

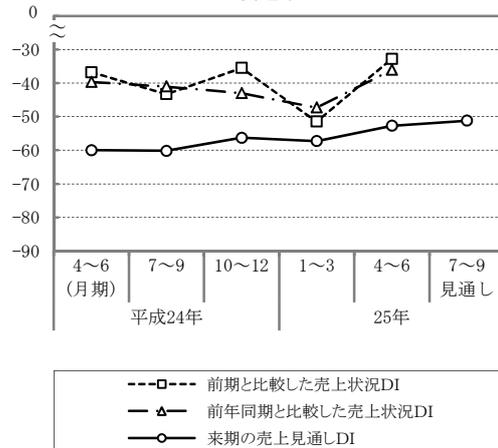
ア 前期と比較した売上状況DIは(-)32.8で、前期(-51.5)に比べ、18.7ポイント改善した。

イ 前年同期と比較した売上状況DIは(-)36.1で、前期(-47.3)に比べ、11.2ポイント改善した。

#### ② 来期の売上見通し

来期の売上見通しDIは(-)51.2で、前期における今期の売上見通し(-52.7)に比べ、1.5ポイントの改善の見通しとなっている。

図10 売上状況DIの推移  
—製造業—



### (3) 営業利益の状況

#### ① 今期の営業利益の状況

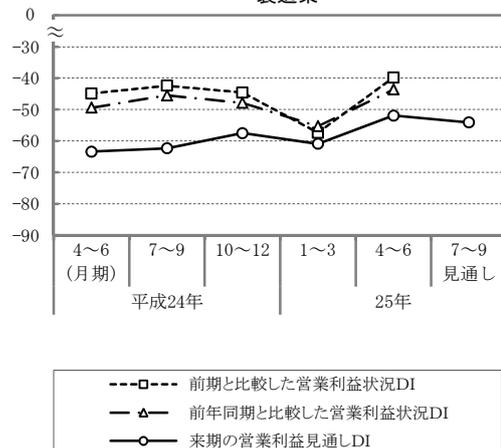
ア 前期と比較した営業利益状況DIは(-)39.8で、前期(-57.4)に比べ、17.6ポイント改善した。

イ 前年同期と比較した営業利益状況DIは(-)43.6で、前期(-55.3)に比べ、11.7ポイント改善した。

#### ② 来期の営業利益見通し

来期の営業利益見通しDIは(-)54.1で、前期における今期の営業利益見通し(-51.9)に比べ、2.2ポイントの悪化の見通しとなっている。

図11 営業利益状況DIの推移  
—製造業—



#### (4) 製品・商品・原材料の在庫状況

今期の製品・商品・原材料の在庫状況DIは (+)0.9 で、前期 (+2.3) に比べ、1.4 ポイントト「過剰」が縮小した。

#### (5) 資金繰りの状況

ア 前期と比較した資金繰り状況DIは (-)31.6 で、前期 (-35.9) に比べ、4.3 ポイント改善した。

イ 前年同期と比較した資金繰り状況DIは (-)33.5 で、前期 (-35.3) に比べ、1.8 ポイント改善した。

#### (6) 雇用状況

今期の雇用状況DIは (-)2.8 で、前期 (-2.7) に比べ、0.1 ポイント「不足」が拡大した。

図12 製品・商品・原材料の在庫状況DIの推移 -製造業-

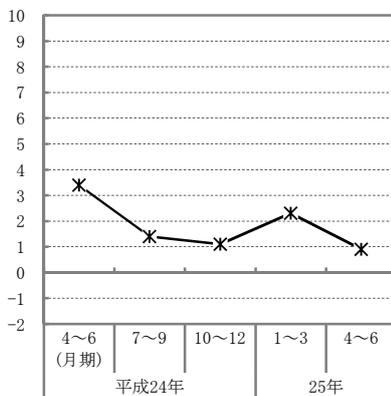


図13 資金繰り状況DIの推移 -製造業-

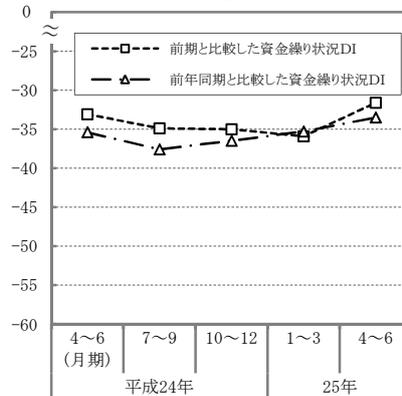
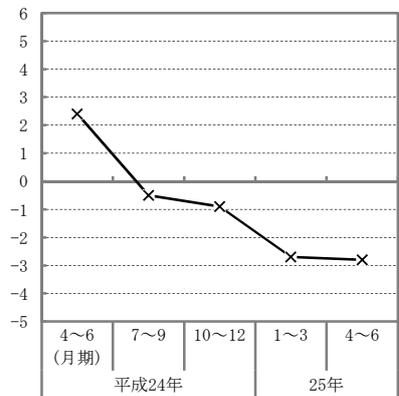


図14 雇用状況DIの推移 -製造業-



### 3 卸売業, 小売業

#### (1) 業況

##### ① 今期の業況

ア 今期 (平成25年4~6月期) の業況判断DIは (-)65.9 で、前期 (平成25年1~3月期) (-70.3) に比べ、4.4 ポイント改善した。

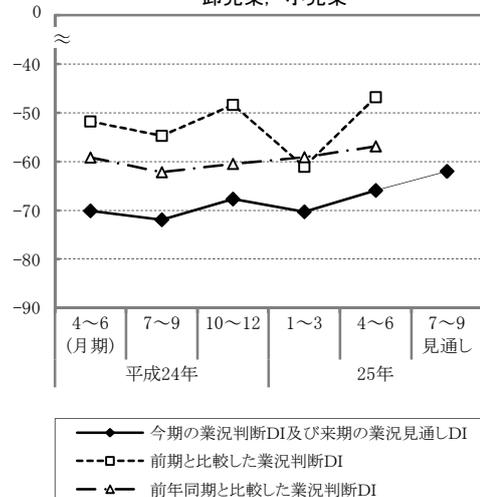
イ 前期と比較した業況判断DIは (-)46.8 で、前期 (-61.1) に比べ、14.3 ポイント改善した。

ウ 前年同期 (平成24年4~6月期) と比較した業況判断DIは (-)56.9 で、前期 (-59.1) に比べ、2.2 ポイント改善した。

##### ② 来期の業況見通し

来期 (平成25年7~9月期) の業況見通しDIは (-)62.0 で、今期の業況判断 (-65.9) に比べ、3.9 ポイントの改善の見通しとなっている。

図15 業況判断DIの推移 -卸売業, 小売業-



## (2) 売上の状況

### ① 今期の売上の状況

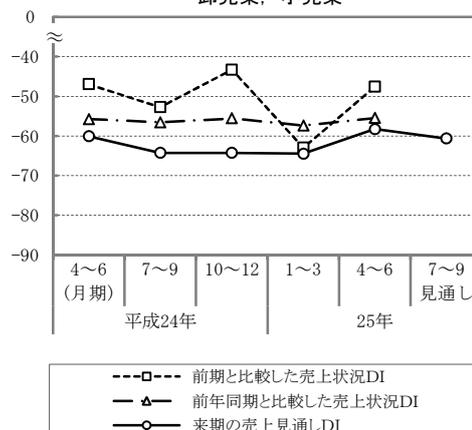
ア 前期と比較した売上状況DIは(-)47.6で、前期(-63.0)に比べ、15.4ポイント改善した。

イ 前年同期と比較した売上状況DIは(-)55.5で、前期(-57.4)に比べ、1.9ポイント改善した。

### ② 来期の売上見通し

来期の売上見通しDIは(-)60.7で、前期における今期の売上見通し(-58.3)に比べ、2.4ポイントの悪化の見通しとなっている。

図16 売上状況DIの推移  
—卸売業、小売業—



## (3) 営業利益の状況

### ① 今期の営業利益の状況

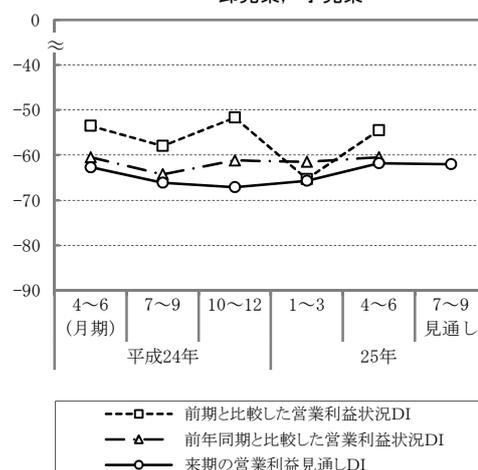
ア 前期と比較した営業利益状況DIは(-)54.5で、前期(-65.3)に比べ、10.8ポイント改善した。

イ 前年同期と比較した営業利益状況DIは(-)60.5で、前期(-61.5)に比べ、1.0ポイント改善した。

### ② 来期の営業利益見通し

来期の営業利益見通しDIは(-)62.0で、前期における今期の営業利益見通し(-61.8)に比べ、0.2ポイントの悪化の見通しとなっている。

図17 営業利益状況DIの推移  
—卸売業、小売業—



## (4) 製品・商品・原材料の在庫状況

今期の製品・商品・原材料の在庫状況DIは(+ )3.5で、前期(+6.2)に比べ、2.7ポイント「過剰」が縮小した。

## (5) 資金繰りの状況

ア 前期と比較した資金繰り状況DIは(-)39.7で、前期(-41.3)に比べ、1.6ポイント改善した。

イ 前年同期と比較した資金繰り状況DIは(-)42.5で、前期(-43.9)に比べ、1.4ポイント改善した。

## (6) 雇用状況

今期の雇用状況DIは(-)4.6で、前期(-5.1)に比べ、0.5ポイント「不足」が縮小した。

図18 製品・商品・原材料の在庫状況DIの推移 -卸売業, 小売業-

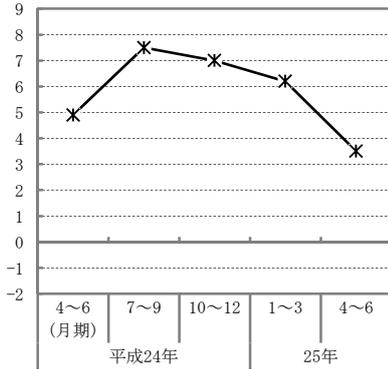


図19 資金繰り状況DIの推移 -卸売業, 小売業-

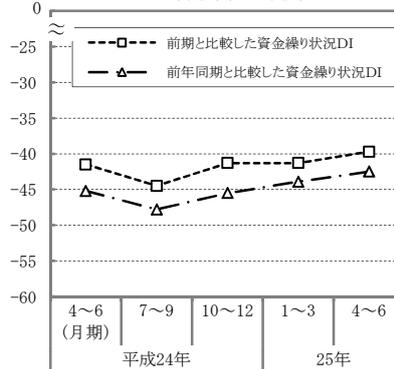
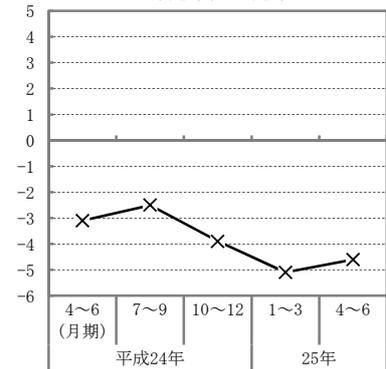


図20 雇用状況DIの推移 -卸売業, 小売業-



## 4 宿泊業, 飲食サービス業

### (1) 業況

#### ① 今期の業況

ア 今期（平成25年4～6月期）の業況判断DIは(-)60.9で、前期（平成25年1～3月期）(-64.4)に比べ、3.5ポイント改善した。

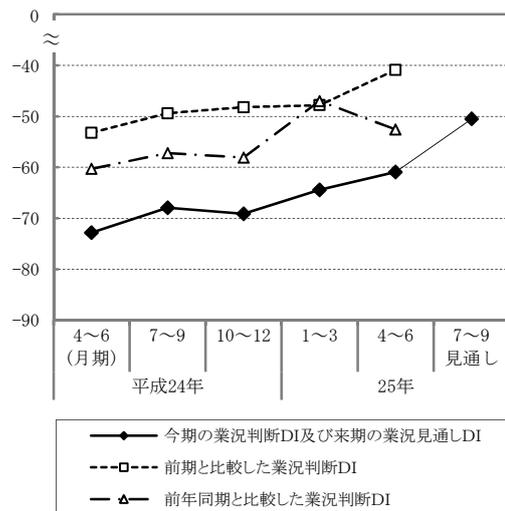
イ 前期と比較した業況判断DIは(-)40.9で、前期(-47.8)に比べ、6.9ポイント改善した。

ウ 前年同期（平成24年4～6月期）と比較した業況判断DIは(-)52.6で、前期(-47.0)に比べ、5.6ポイント悪化した。

#### ② 来期の業況見通し

来期（平成25年7～9月期）の業況見通しDIは(-)50.5で、今期の業況判断(-60.9)に比べ、10.4ポイントの改善の見通しとなっている。

図21 業況判断DIの推移 -宿泊業, 飲食サービス業-



### (2) 売上の状況

#### ① 今期の売上の状況

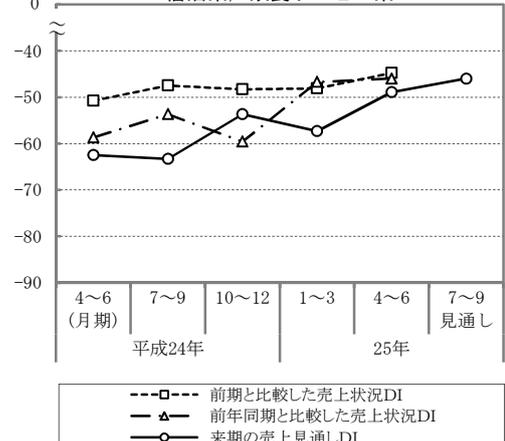
ア 前期と比較した売上状況DIは(-)44.8で、前期(-48.1)に比べ、3.3ポイント改善した。

イ 前年同期と比較した売上状況DIは(-)46.0で、前期(-46.7)に比べ、0.7ポイント改善した。

#### ② 来期の売上見通し

来期の売上見通しDIは(-)46.0で、前期における今期の売上見通し(-48.9)に比べ、2.9ポイントの改善の見通しとなっている。

図22 売上状況DIの推移 -宿泊業, 飲食サービス業-



### (3) 営業利益の状況

#### ① 今期の営業利益の状況

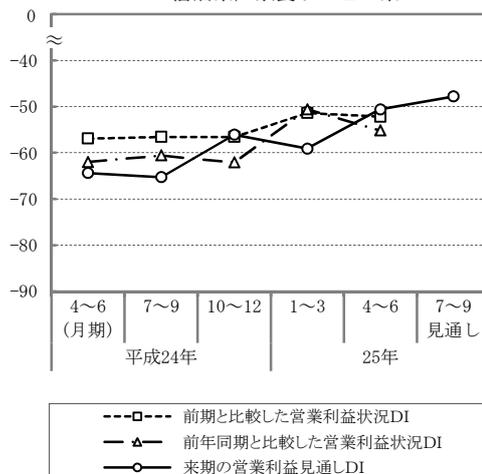
ア 前期と比較した営業利益状況DIは(-)52.2で、前期(-51.4)に比べ、0.8ポイント悪化した。

イ 前年同期と比較した営業利益状況DIは(-)55.2で、前期(-50.6)に比べ、4.6ポイント悪化した。

#### ② 来期の営業利益見通し

来期の営業利益見通しDIは(-)47.8で、前期における今期の営業利益見通し(-50.6)に比べ、2.8ポイントの改善の見通しとなっている。

図23 営業利益状況DIの推移  
—宿泊業、飲食サービス業—



### (4) 製品・商品・原材料の在庫状況

今期の製品・商品・原材料の在庫状況DIは(+ )3.0で、前期(+2.6)に比べ、0.4ポイント「過剰」が拡大した。

### (5) 資金繰りの状況

ア 前期と比較した資金繰り状況DIは(-)37.1で、前期(-38.1)に比べ、1.0ポイント改善した。

イ 前年同期と比較した資金繰り状況DIは(-)39.0で、前期(-40.9)に比べ、1.9ポイント改善した。

### (6) 雇用状況

今期の雇用状況DIは(-)2.9で、前期(-3.9)に比べ、1.0ポイント「不足」が縮小した。

図24 製品・商品・原材料の在庫状況DIの推移  
—宿泊業、飲食サービス業—

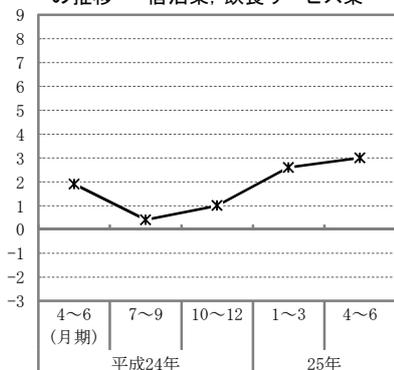


図25 資金繰り状況DIの推移  
—宿泊業、飲食サービス業—

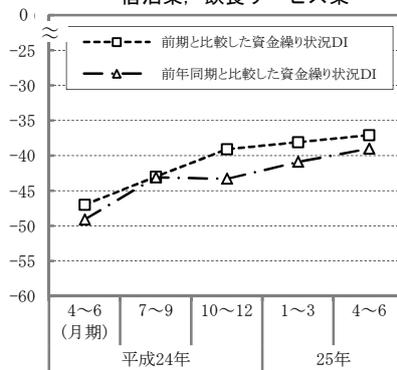
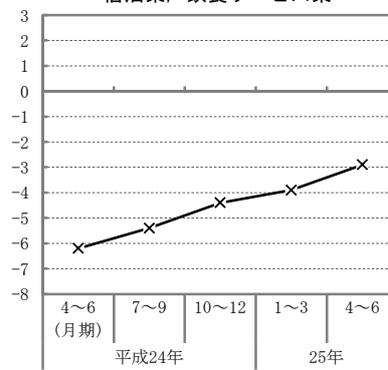


図26 雇用状況DIの推移  
—宿泊業、飲食サービス業—



## 5 サービス業

### (1) 業況

#### ① 今期の業況

ア 今期（平成25年4～6月期）の業況判断DIは（-）59.7で、前期（平成25年1～3月期）（-68.2）に比べ、8.5ポイント改善した。

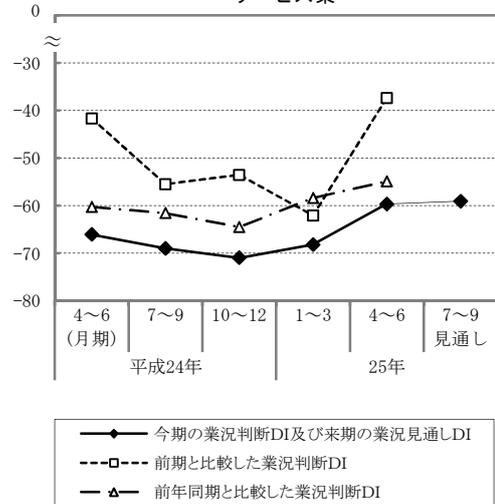
イ 前期と比較した業況判断DIは（-）37.4で、前期（-62.1）に比べ、24.7ポイント改善した。

ウ 前年同期（平成24年4～6月期）と比較した業況判断DIは（-）54.9で、前期（-58.4）に比べ、3.5ポイント改善した。

#### ② 来期の業況見通し

来期（平成25年7～9月期）の業況見通しDIは（-）59.1で、今期の業況判断（-59.7）に比べ、0.6ポイントの改善の見通しとなっている。

図27 業況判断DIの推移  
—サービス業—



### (2) 売上の状況

#### ① 今期の売上の状況

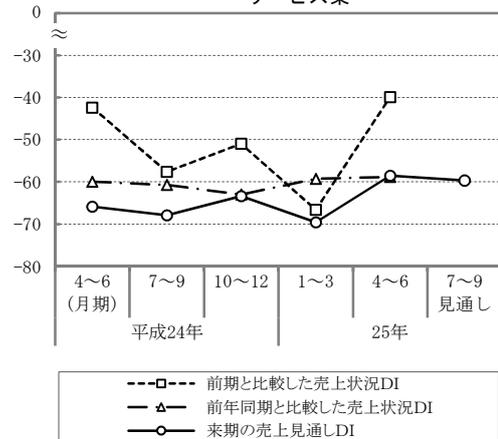
ア 前期と比較した売上状況DIは（-）39.9で、前期（-66.6）に比べ、26.7ポイント改善した。

イ 前年同期と比較した売上状況DIは（-）58.8で、前期（-59.3）に比べ、0.5ポイント改善した。

#### ② 来期の売上見通し

来期の売上見通しDIは（-）59.7で、前期における今期の売上見通し（-58.5）に比べ、1.2ポイントの悪化の見通しとなっている。

図28 売上状況DIの推移  
—サービス業—



### (3) 営業利益の状況

#### ① 今期の営業利益の状況

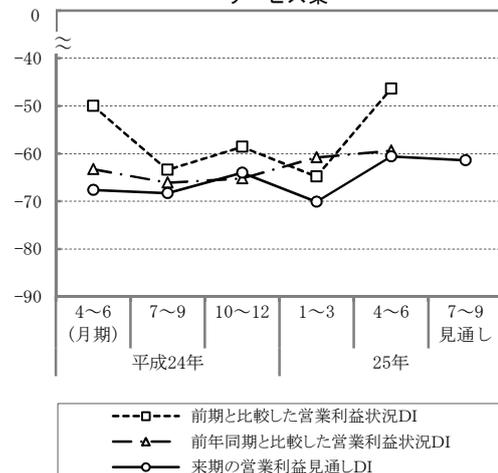
ア 前期と比較した営業利益状況DIは（-）46.4で、前期（-64.8）に比べ、18.4ポイント改善した。

イ 前年同期と比較した営業利益状況DIは（-）59.4で、前期（-60.8）に比べ、1.4ポイント改善した。

#### ② 来期の営業利益見通し

来期の営業利益見通しDIは（-）61.4で、前期における今期の営業利益見通し（-60.6）に比べ、0.8ポイントの悪化の見通しとなっている。

図29 営業利益状況DIの推移  
—サービス業—



#### (4) 製品・商品・原材料の在庫状況

今期の製品・商品・原材料の在庫状況DIは(+) $1.6$ で、前期(+ $0.9$ )に比べ、 $0.7$ ポイント「過剰」が拡大した。

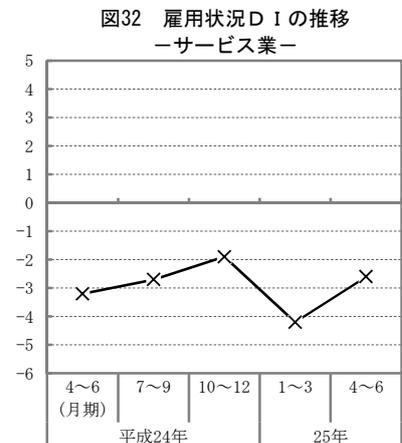
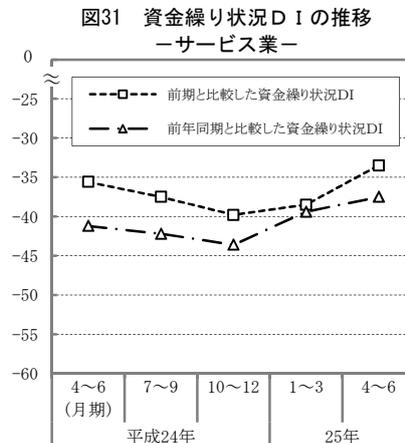
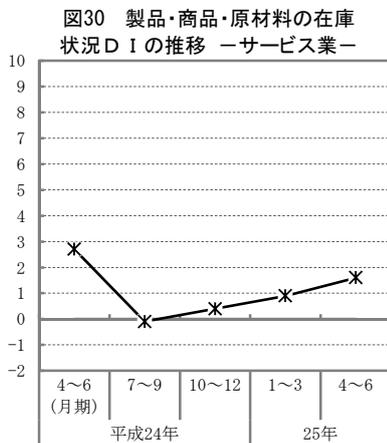
#### (5) 資金繰りの状況

ア 前期と比較した資金繰り状況DIは(-) $33.5$ で、前期(- $38.5$ )に比べ、 $5.0$ ポイント改善した。

イ 前年同期と比較した資金繰り状況DIは(-) $37.5$ で、前期(- $39.4$ )に比べ、 $1.9$ ポイント改善した。

#### (6) 雇用状況

今期の雇用状況DIは(-) $2.6$ で、前期(- $4.2$ )に比べ、 $1.6$ ポイント「不足」が縮小した。



### Ⅲ 営業収支

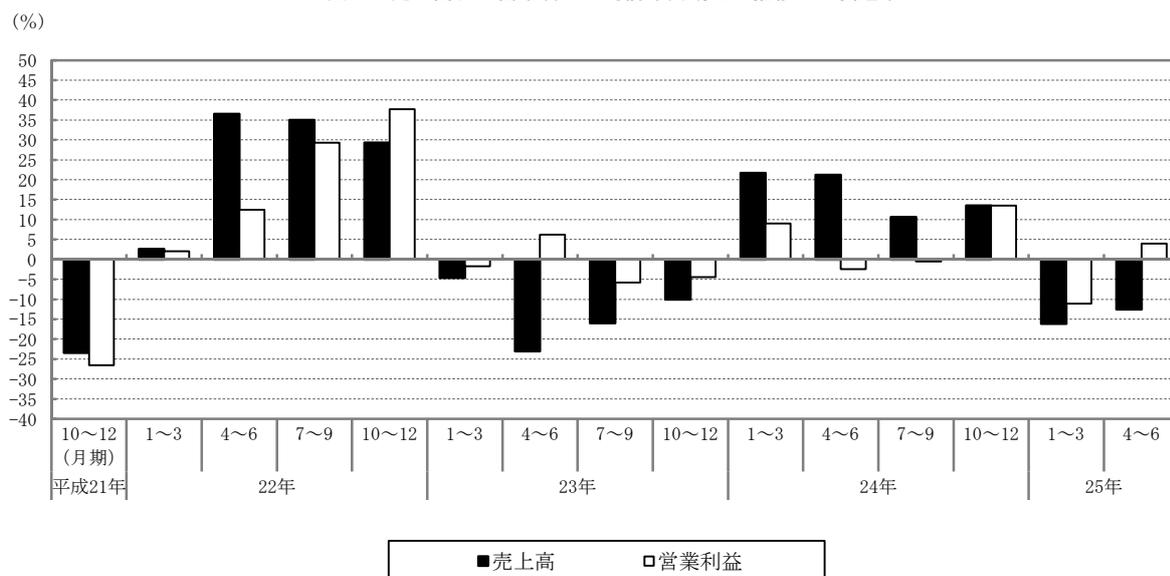
#### 1 製造業

##### (1) 売上高及び営業利益

今期の1事業所当たりの売上高は218万3000円で、これに対する費用は売上原価が72万7000円、営業費が82万5000円となり、売上高からこれらの費用を差し引いた営業利益は63万円となった。

対前年同期比をみると、売上高は(-)12.5%で、2期連続で減少した。また、営業利益は(+ )4.0%で、2期ぶりに増加した。

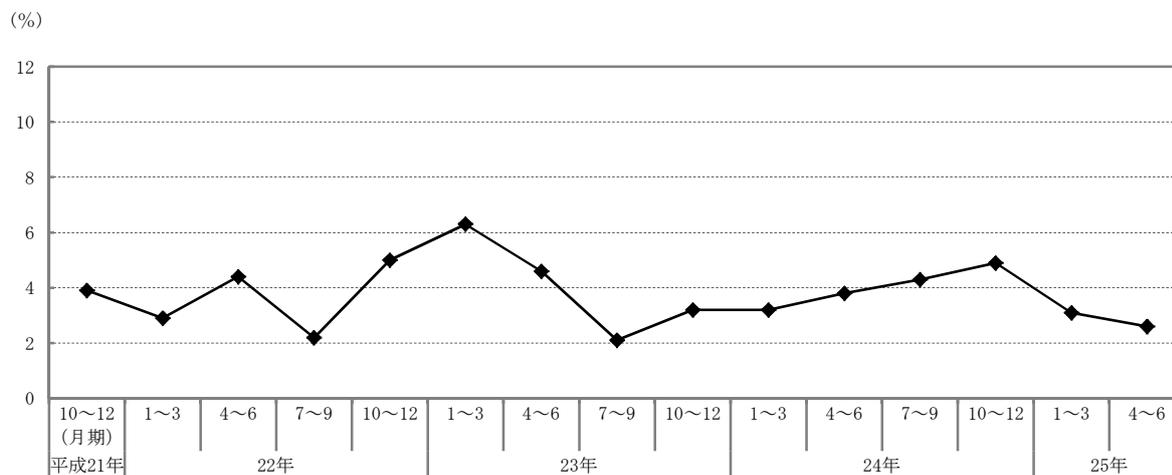
図33 売上高及び営業利益の対前年同期比の推移 - 製造業 -



##### (2) 設備投資

今期の1事業所当たりの設備投資額は5万6000円で、前年同期(9万4000円)を下回った。また、設備投資率(売上高に対する設備投資額の割合)は2.6%で、前年同期(3.8%)を1.2ポイント下回った。

図34 設備投資率の推移 - 製造業 -



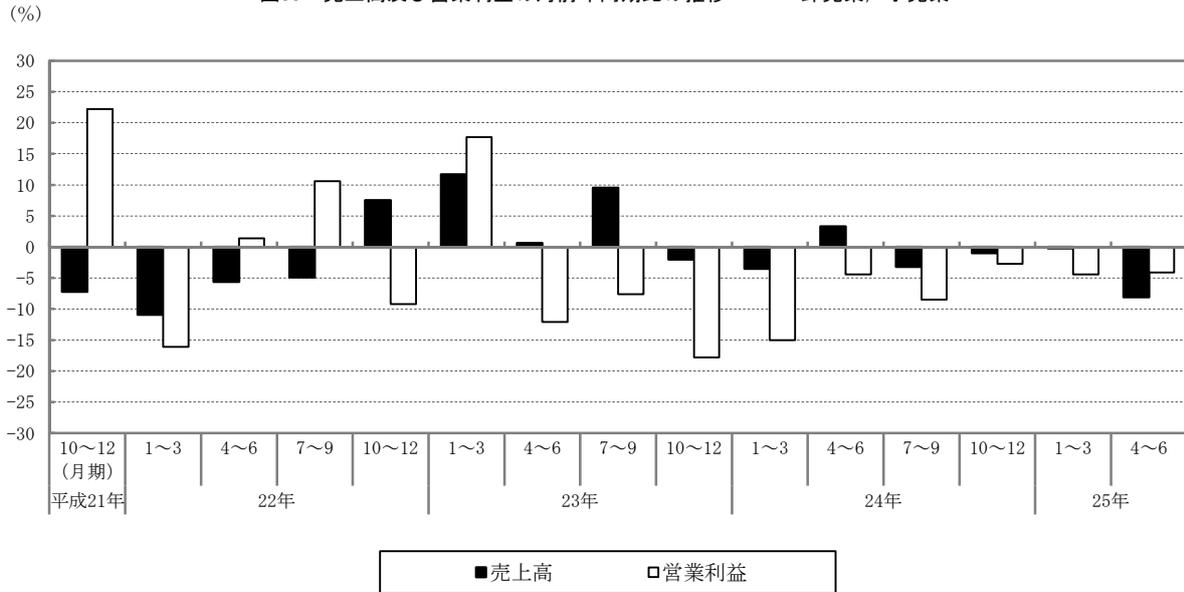
## 2 卸売業、小売業

### (1) 売上高及び営業利益

今期の1事業所当たりの売上高は393万2000円で、これに対する費用は売上原価が267万4000円、営業費が86万円となり、売上高からこれらの費用を差し引いた営業利益は39万8000円となった。

対前年同期比をみると、売上高は(-)8.1%で、4期連続で減少した。また、営業利益は(-)4.1%で、9期連続で減少した。

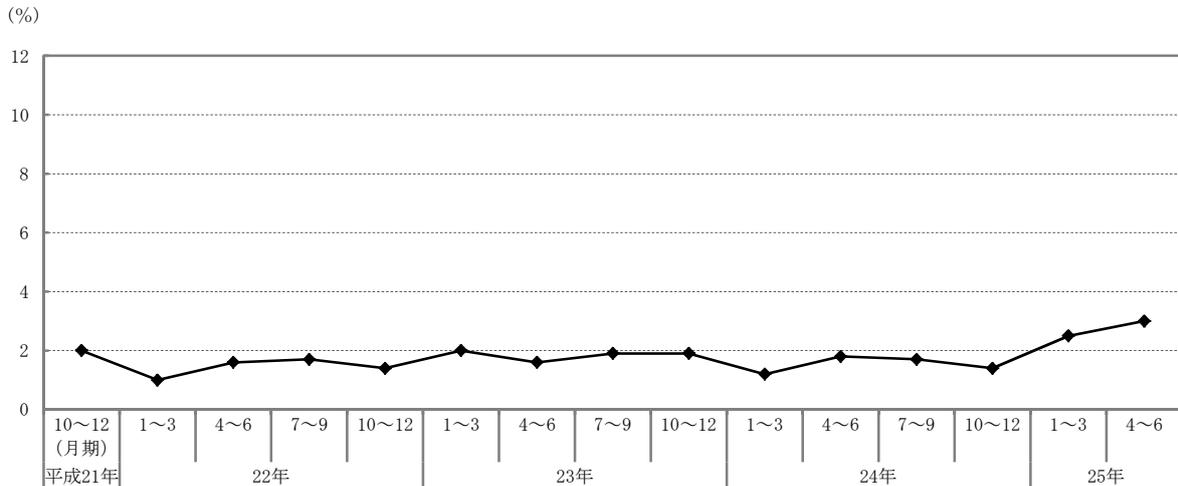
図35 売上高及び営業利益の対前年同期比の推移 ー卸売業、小売業ー



### (2) 設備投資

今期の1事業所当たりの設備投資額は11万8000円で、前年同期(7万6000円)を上回った。また、設備投資率は3.0%で、前年同期(1.8%)を1.2ポイント上回った。

図36 設備投資率の推移 ー卸売業、小売業ー



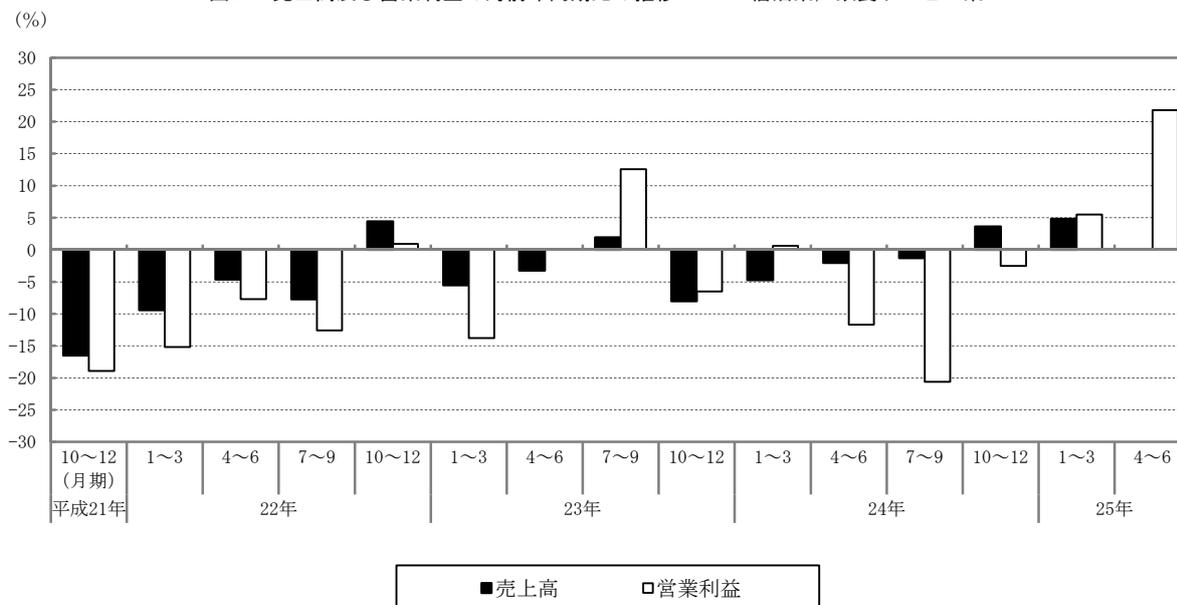
### 3 宿泊業，飲食サービス業

#### (1) 売上高及び営業利益

今期の1事業所当たりの売上高は208万7000円で、これに対する費用は売上原価が84万6000円、営業費が81万7000円となり、売上高からこれらの費用を差し引いた営業利益は42万4000円となった。

対前年同期比をみると、売上高はほぼ同額となった。また、営業利益は(+) $21.8\%$ で、2期連続で増加した。

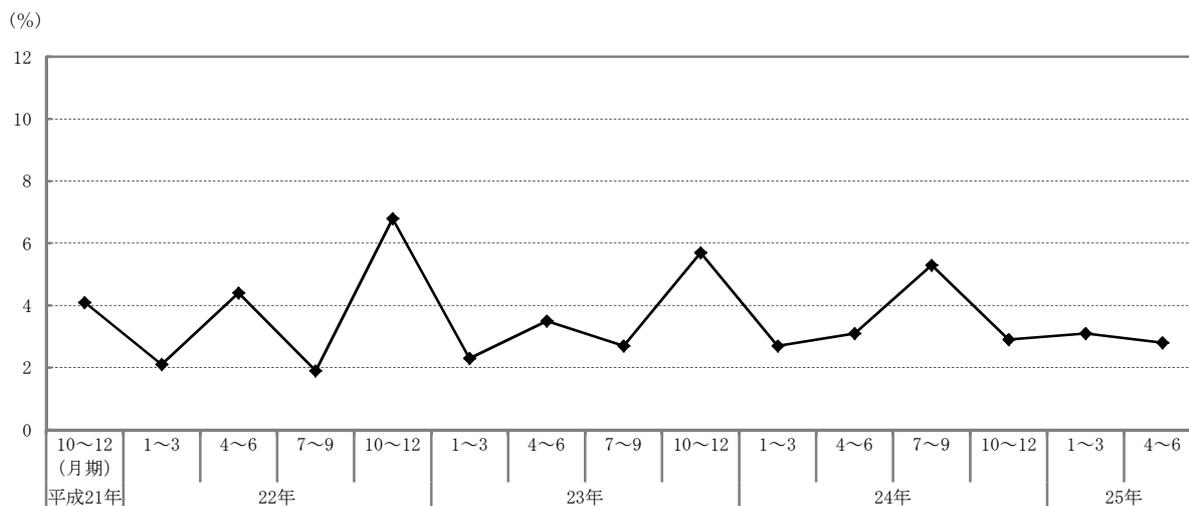
図37 売上高及び営業利益の対前年同期比の推移 ー宿泊業，飲食サービス業ー



#### (2) 設備投資

今期の1事業所当たりの設備投資額は5万9000円で、前年同期(6万4000円)を下回った。また、設備投資率は $2.8\%$ で、前年同期( $3.1\%$ )を0.3ポイント下回った。

図38 設備投資率の推移 ー宿泊業，飲食サービス業ー



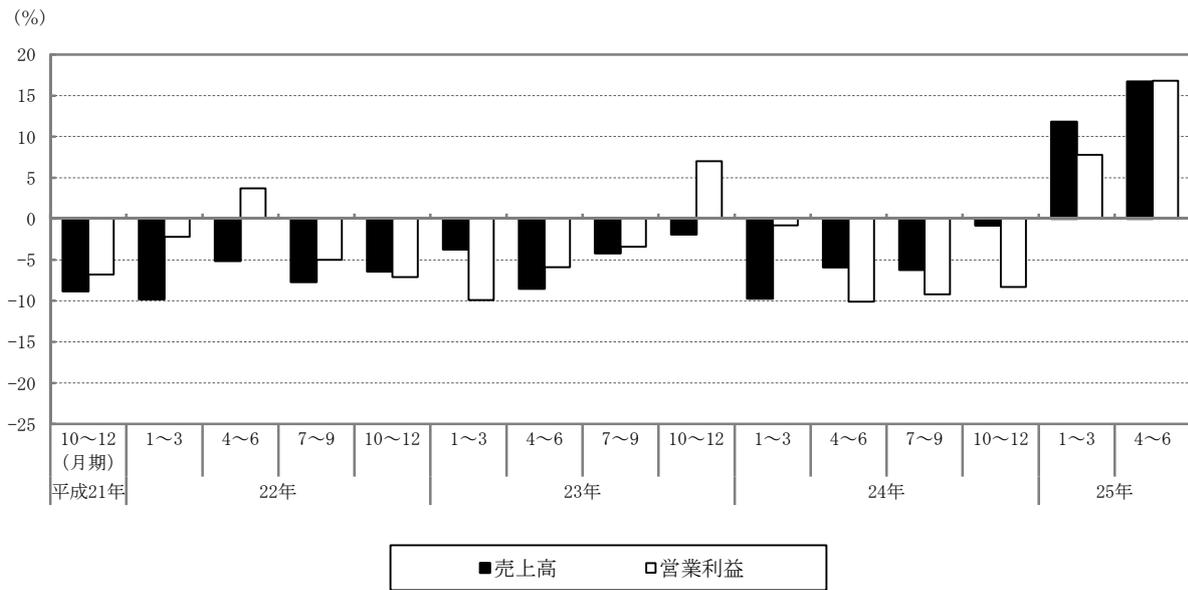
## 4 サービス業

### (1) 売上高及び営業利益

今期の1事業所当たりの売上高は140万5000円で、これに対する費用は売上原価が24万6000円、営業費が63万6000円となり、売上高からこれらの費用を差し引いた営業利益は52万2000円となった。

対前年同期比をみると、売上高は(+16.7%)で、2期連続で増加した。また、営業利益は(+16.8%)で、2期連続で増加した。

図39 売上高及び営業利益の対前年同期比の推移 —サービス業—



### (2) 設備投資

今期の1事業所当たりの設備投資額は6万3000円で、前年同期(10万1000円)を下回った。また、設備投資率は4.5%で、前年同期(8.4%)を3.9ポイント下回った。

図40 設備投資率の推移 —サービス業—

